

# 立命館百年史資料集・第一集

## 目次

注1 資料名の 印は立命館関係 印は隣接大学等の関係 無印はそれ  
の他教育事情関係

注2 出典は、『京都新聞』の記事・広告 末尾「」内は新聞日付。  
注3 年代は一九五〇年より一九五五年とした。

## 一九五〇年(昭和十五年)

- 一 京都道州制の構想(二・三)
- 二 社説 教育復興の年たらしめよ(二・四)
- 三 京大湯川素綱博士の研究室の状況(二・五)
- 四 京都文藝雑誌発定 末山博準備委員(二・一〇)
- 五 京都府 私学振興対策にのり出す(二・二六)
- 六 京大調音団の広島展覧記録 世界へ出版(二・二四)
- 七 京都府教委 新制高校の最大収容数決定(二・二五)
- 八 京大 学費総額五千人に増大(二・二七)
- 九 大学院学位 博士と修士に決定(二・二七)
- 一〇 京大 ガス・電灯値下げで研究設備に危機(二・二八)
- 一一 京都松田ジャートル学園建設プラン(二・二六)
- 一二 同社大卒 書籍審査人学採用(二・二六)
- 一三 放學京都府立慶大生の放學処分取消しの本訴撤回(二・二四)
- 一四 暴力事件など(二・三三・二・三八・二・四二)
- 一五 広舎 立命館学生生徒募集  
(二・二七・二・三三・二・四・二・四五)
- 一六 京都府教委 困難府立高校生に授業料減免繰越拡大(二・二六)
- 一七 講和問題をめぐって学費でも意見対立(二・六六)
- 一八 公立高校空襲被害にチャイフメント・テスト実施(二・六六)
- 一九 山城・桃山高校(定時制)へ学校給食実施(二・二七)
- 二〇 職なき卒業の春 女子学生・生徒(二・一〇)
- 二一 立命館事務理事取調べ(二・一一)
- 二二 巻込迫る京の短期大学(二・一三)
- 二三 京都府立鴨江高校教員一せいで休(二・二四)
- 二四 上級学校に通う家庭にも生活保護適用(二・二六)
- 二五 京大旧制最後の志願募集の切(二・二六)
- 二六 立命館五十周年記念事業 五十年計画発表(二・二二)
- 二七 国際基督教大学の構想(二・一二)
- 二八 文部省 バイト学生に登録制実施(二・二五)
- 二九 新制京大 願望募め切(二・二六)
- 三〇 京都市幼・小・中・高校教員空襲被害(二・二八)
- 三一 私立中・高校たわびしい春(三・一)

- 三一 大学修業津貼案(文部省案)審議(三・三)
- 三二 立命館大学 犯罪学生処分し 学園刷新図る(三・四)
- 三四 西陣の語り地変学校にも影響(三・六)
- 三五 京都府教委 “一せいで罷退は入” の見解(三・二九)
- 三六 京都府教委 市教委へ委託協議(三・二九)
- 三七 市教委 高校収容力増加を府教委へ申し(三・一〇)
- 三八 末山立命館長 知事選不出馬を明(三・一一)
- 三九 社説 私立学校の泰慮(三・一五)
- 四〇 立命館大学 英米文科学部開設(三・一五)
- 四一 大学設置審議会 短期大学十校を認可(三・一五)
- 四二 旧制短大にも “狭き教壇への道”(三・一八)
- 四三 衣笠球場であすから一口野球(三・二三)
- 四四 三高 八十全の校中閉(四・一)
- 四五 府立短期大学設立運動起る(四・六)
- 四六 立命館短期大学開設認可(四・六)
- 四七 市内定時制高校(夜間)入学生数増加(四・七)
- 四八 校舎会 勸学生に三角旗を市交通局に提出(四・三)
- 四九 日本育英会 困難学生に奨学金一五億円貸与(四・一九)
- 五〇 文部省大学設置審議会 新制大学を再審査(四・一九)
- 五一 蜷川虎二 京都府知事に選出(四・二三)
- 五二 京地裁 教諭追放取消し請求を却下(四・二三)
- 五四 京大同学会 全学連加入を決定(四・二七)
- 五五 学生運動と平和問題(五・一)
- 五六 同社大卒大学院院審議可(五・一)
- 五七 東北大学のイル博士演説妨害事件(五・四・六・六)
- 五八 標準義教員費の確保に関する提議案 流産(五・七)
- 五九 京都学生対抗陸上 立命大優勝(五・八)
- 六〇 京大法学部教授佐々木惣一博士 辞表提出(五・九)
- 六一 京都府教委 教員の政治活動に自粛求める(五・一一)
- 六二 北大のイル博士演説中止(五・一七)
- 六三 天野文相 学生取締りを表明(五・一八・六・二二・二四)
- 六四 岩井大イール博士講演(五・一九)
- 六五 座談会 学生は何を考え・生活するか(五・二三)
- 六六 同社大卒 無期懲戒処分所置(五・二六)
- 六七 市教委 定時制高校の危機を訴える(五・二八)
- 六八 京大総務学部学生会 私服着入場で騒ぐ(六・一)
- 六九 全国十二校 六・三学生入参加を決議(六・二)
- 七〇 全学連糾察が 指々に学校批判(六・九)
- 七一 きけわたつみの声 誌(六・一〇)
- 七二 京都府 私立学校審議会委員を任命(六・一一)
- 七三 戸塚貴 早稲田大学を襲撃 “入部への顧問書” 押収(六・二二)



一四七	進学適性検査実施趣意を發表（二・一九夕）
一四八	京都の新制大学入試要綱發表（二・二〇）
一四九	京都府教委、公立高校入学選抜要綱決定（二・二二）
一五〇	進学適性検査実施（二・二四夕）
一五一	立命館大学で、戦争反対・全国平和を決定大会（二・二七）
一五二	社説 教授赤色追放推進の問題点（二・三〇）
一五三	身体不自由用特別養護学校誕生（二・三〇夕）
一五四	京大細胞、主流・国際派の激突（二・五）
一五五	広告 立命館大学・高等学校・夜間高等学校・神山高等 学校・中学校学生生徒募集（二・五）
一五六	京都府教委、中学生通学書庫庫負担運動（二・九）
一五七	京教組統一か（二・一二）
一五八	教委・学校・父兄・生徒の座談会、高校入試問題 （二・二五）
一五九	教科書無償交付、天野文相談（二・一七）
一六〇	京都府職員の大卒派遣労働者出さう（二・一七夕）
一六一	京都府教委高校事務通則（高校設置）案を可決（二・二二）
一六二	大学審判法近く国会へ提出（二・二五）
一六三	高教組、高校設置返下闘争を展開（二・二六）
一六四	社説 大学審判法案の目ざすもの（三・八）
一六五	独立後、紀元節復活と国歌制定、吉田首相爆発（三・一〇）
一六六	糸へん景を反映し、工礦大の志願者増（三・一二）
一六七	広告 立命館大学・短期大学・高等学校・神山高等学校 学生生徒募集（三・二五）
一六八	京都開学院、京都女子大へ身乗り話（三・二六）
一六九	新制大学卒業生の学手首は七種に決定（四・一〇）
一七〇	京都府下私立高校、定員を違かに突破（四・一二）
一七一	文部省、教職追放者解除について具体案検討（五・二三）
一七二	学生アルバイトの実相（六・三夕）
一七三	元立命館理事長石原公一郎追放解除賛美（六・四）
一七四	各大学史記施設（動物学部門）を解放し、共同利用（六・二三）
一七五	文部省、大学入学者校検定制度を制定・実施（六・二〇）
一七六	京都府教委、高校設置につき回答（七・六）
一七七	教員委員は任命制にしたい、天野文相談（七・九）
一七八	京大生定期身体検査、結核患者は昨年の三倍（七・一〇）
一七九	教員刷新運動、六・三制堅持を確認（八・二五）
一八〇	京都の学生犯罪は全国第一位、国営京都府本部調査 （八・二五夕）
一八一	六・三制擁護大会（八・二六）
一八二	同志社青甲高校、同中学校発足（九・三）
一八三	立命館大学役員改選（九・四夕）
一八四	京大、騒動事件の処分解除（九・五）
一八五	法令再議閣委員会、六・三制を原則維持

一九・五／二〇・三／二一・二七	
一八六	京大、同大、立命大の就職戦線（九・一〇）
一八七	立命大理事長に北川敏文就任（九・一二）
一八八	六・三制教育擁護市民大会（九・三三）
一八九	京大で日米生種、厚生研究会（九・一五）
一九〇	教職追放解除、京龍閣係（一〇・五）
一九一	大阪市立大学、講和、安後協定反対スト（一〇・六）
一九二	京都府、全国初の景観大設立（一〇・一二）
一九三	京大全学平和大会終わる（一〇・一九）
一九四	京大、両条約准反対会を（一〇・二〇／二二）
一九五	大学就職戦線（一〇・二〇）
一九六	全国高校正時制教員組合京都大会（一〇・二三）
一九七	勤労生に市電の二角定期（一〇・二七）
一九八	京教組の闘争に府中学校教育会が協力度（一一・六）
一九九	田山公園で国際青年（一一・八夕）
二〇〇	水民邸の投石事件問題化（一一・九夕）
二〇一	京大同学会、行幸に警察立入り拒否入れ（一一・二〇夕）
二〇二	京都府、京大へは言ひ入れぬ態度決定（一一・二二）
二〇三	京大天皇事件と同大総戦（一一・二五）
二〇四	文部省教員表、教員のせいし閣議、ハンスと連反 （一二・一八）
二〇五	学識経験者、天野文相の「国民教育」挙げて反対 （一二・二五夕）
二〇六	京大右派生、「新潮会」を結成（一二・四）
二〇七	立命館大学就職戦線に博士号（一二・一二）
二〇八	京都学生駅伝、立命大が優勝（一二・二七）
一九五年（昭和二十年）	
二〇九	京都市教委、青少年不良化防止に新構想（一・一〇）
二一〇	高山勇氏招へいで学務院全学内に反対運動（一・一二）
二一一	公立高校入学者選抜案、中学側が反対（一・一六）
二一二	「義務教育学校施設整備促進期成同盟」結成（一・二八）
二一三	高校入試、同一問題こそいじ（二・一〇）
二一四	故河上博士追悼講演開催をめぐって（二・二五／二・二）
二一五	新制中学卒業生に暗い春（二・二七）
二一六	神山中学、高校を立命館中・高校に整備統合（二・二五夕）
二一七	私立中学・高校、中学校学費値上げ（二・二八）
二一八	同志社大学、授業料値上げ提起をめぐって （二・二九／三〇夕／三二夕）
二一九	立命館大学も授業料値上げ案を發表（二・三〇夕）
二二〇	修士吉は厳重な筆禍（二・三〇夕）
二二二	全大学の学術文獻委員会設立成めで、仕事を開始（二・二二）

- 二二三 京都府下の私立学校の生徒募集態（二・一五）
- 二二三 広告 立命館大学 大学院・大学・専門学校別科・高等校  
（全日制・定時制）・中学校学生生徒集（二・一〇）
- 二三四 京都市立京極大など認可（二・一〇）
- 二三五 国立大学も授業料値上げ（二・一二）
- 二五六 社説 私学に加わる弱い者いじめ（二・一五）
- 二五七 京都私立高校入學の手引 立命館高等学校・立命館学園  
高等学校（二・一五）
- 二五八 京都私立大学入學の手引 立命館大学一部・一部  
（二・一六）
- 二五九 東大水口事件（二・二一）
- 二六〇 京大、全学自治会準備会結成（二・二三）
- 二六一 「再軍備反対青年婦人大会」開催不能 騒動化した反対も  
（二・二四）
- 二六二 同志社大学長に田畑氏決定（二・二六）
- 二六三 高校の正科に「倫理科」を新設 天野文相談（二・二七）
- 二六四 公立高校学力検査へ受験者制（三・一）
- 二六五 学長選任権に中央教育審議会を検討（三・一）
- 二六六 立命館松坂球場 学校関係者以外での使用禁止を発表  
（三・四）
- 二六七 凡語 立命館松坂球場（三・六）
- 二六八 広告 立命館中学校・立命館高等学校（全日制）・  
立命館高等学校（定時制）生徒募集（三・八）
- 二六九 国立学校設置法一部改正案（三・八）
- 二七〇 巣立つ新卒、京大五千五百人（三・九）
- 二七一 京大の原子核実験費活動開始（三・一〇）
- 二七二 教員採用試験試験合格者採用見送り（三・一〇）
- 二七三 三・一〇騒動事件（三・一二）
- 二七四 憲法第九条の解釈 佐々木惣一博士自解（三・一二）
- 二七五 中川幹太 塩崎達人追放解除（三・一三）
- 二七六 京都府立医大・立命大、ケイ肺病の共同治療研究を着手  
（三・一五）
- 二七七 広告 立命館大学・専門学校別科・大学院学生募集  
（三・一七）
- 二七八 立命館中学・高校生徒会、北海道へ憲法第五（三・一八）
- 二七九 立命館大学文学部教授会内紛（三・三三）
- 二八〇 京大、警備の学内立入り問題（四・一五）
- 二八一 都学連生会、破防法反対国会参（四・一九）
- 二八二 東大生、警備衝突 警備隊、第 東大事件として重視  
（四・二二）
- 二八三 新学期の教員人事をめぐって 鴨江高校 堀川高校  
（四・二二）
- 二八四 東大、全学連会など閉鎖通告（四・二三）
- 二八五 東大教員会、警備のメモを詰問（四・二四）
- 二八六 学術会議 破防法反対決議（四・一五）
- 二八七 立命館大学、授業料値上げ交渉（四・二三）
- 二八八 京都府立大学、全学連会、立命大、わたつみ像破壊式  
（四・二五）
- 二八九 破防法参事の公聴会（五・一）
- 二九〇 メーデー各地で暴動化 立命大助教授逮捕（五・二）
- 二九一 政府・治安対策を検討（五・三）
- 二九二 矢内原東大参事、「自由と独立」と題し講演（五・三）
- 二九三 南原副東大参事、「独立日本の文化理想」と題し講演（五・八）
- 二九四 早大事件（五・九）
- 二九五 愛知大学事件（五・九）
- 二九六 立命館大学新校舎工事（五・一四）
- 二九七 京大に「軍事科学生研究会」組織（五・一七）
- 二九八 アジア平和会議 末川氏ら発起人推薦（五・一八）
- 二九九 京大同学会再建の機運（五・二二）
- 三〇〇 義塾教員で府と府教委が対立（五・二三）
- 三〇一 同志社大学教授会、破防法反対決議（五・二四）
- 三〇二 全国国立大学学長会議にて天野文相あいさつ（五・二五）
- 三〇三 立命館大学教授会、破防法反対声明（五・二六）
- 三〇四 全国国立大学協会、大学審判制決定決議（五・二六）
- 三〇五 私立学校全額増（五・二九）
- 三〇六 同志社大学各学部生大会、破防法反対大会を決議（五・二九）
- 三〇七 京大有教協、個人の資格で破防法反対署名発明  
（五・二九）
- 三〇八 同大・立命大教授会主催「破防法批判学術講演会  
（五・三〇）
- 三〇九 立命館大学全学学生大会、破防法反対大会決議  
（五・三〇）
- 三一〇 同志社大学校会、破防法反対運動について教授と懇談  
（六・一）
- 三一一 京大四学部・吉田分校、破防法反対大会決議（六・一五）
- 三一二 立・同教授会、ゼミ生自主署名声明（六・一五）
- 三一三 全京都学生破防法反対総決起大会（六・一六）
- 三一四 赤化防止団、京大スナに勧告（六・一八）
- 三一五 新教育制度について全国高校校務協議会（六・二一）
- 三一六 立命館高校雑井大会（六・二四）
- 三一七 京都府立鴨江高校定時制の全学連加入決議（六・一五）
- 三一八 京大服部学長告示、スト禁止について（六・一六）
- 三一九 京都の各大学、破防法反対「岩間 ス」に呼応 警備隊と衝突  
（六・一八）
- 三二〇 破防法反対大会参加者の府教委行政処分問題  
（六・一九）
- 三二一 京都の学生運動（六・一九）
- 三二二 全学連大会と全学連問題（六・二二）

- 二九三 今年のアルバイト状況 生徒援会京都支部調べ(七・二)
- 二九四 文部省「学生運動白書」を発表(八・五)
- 二九五 全学連松任のもとづく農村工作(八・二五)
- 二九六 岡野新文相に望む 京の三学長(八・三三)
- 二九七 「無党派主義」で教育 田畑間大学長談(八・一七)
- 二九八 社説 自由党の文教政策と教養選挙(八・二〇)
- 二九九 教員組合の政治活動は不可 剣本文部会報告(八・二二)
- 三〇〇 日米教授 財界人討論 学生運動でも(八・二七、二九)
- 三〇一 国立大・太学設置検討問題(八・二三)
- 三〇二 国立大学入試 期に分けて実施(八・二七)
- 三〇三 天野京都府教員長 教員の政治活動について訓示(九・三)
- 三〇四 京大服部校長あて市警防書の投じた波紋 解説(九・九)
- 三〇五 私大生の就職戦線(九・九)
- 三〇六 教員委員選挙開票 立命大洋津清氏出馬(九・二〇)
- 三〇七 指導教官明春から実施(九・二二)
- 三〇八 選挙バイトの立命大生 試験前期を串入れ(九・二二)
- 三〇九 アジア太学連立和会議都準備会許可(九・二二)
- 三一〇 京大、学内の不正を二掃(九・一七)
- 三一 市公委 立大自治会主催「吉野塾生大会」不許可(九・二七、二八)
- 三一二 われらのホブ 立命館大学(野球部)吉田君の巻(一〇・二四)
- 三二三 立命館大学選手(国体馬術)ら死傷(一〇・二四)
- 三三四 経団連 教員制の再検討要望(一〇・二六)
- 三三五 京阪神各地の大学関係者で中小企業家の就職機会(一〇・一九)
- 三三六 京都府教育庁 高校教員二原則について世論調査(一〇・一〇)
- 三三七 佐々木惣二博士に文化勳章(一〇・二五)
- 三三八 立命館大学 国体軟式野球優勝(一〇・二四)
- 三三九 同志社大学学生会館急閉け渡し問題(一〇・三〇)
- 三三〇 国連救済本部度わが国にも適用(一〇・三三)
- 三三二 来年度高校生者選抜方針決定(一一・五)
- 三三三 国立十大学 太学院新設(一一・一〇)
- 三三三 第四次公田内閣新政策 産業教育と道義場(一一・二三)
- 三四 立命 全日本フェンシング(エッペ)選手権日本地区予選優勝(一一・二七)
- 三五 立命館大学 京都学生駅伝競走優勝(一二・一)
- 三六 文部省催し畿北地区学生就職問題連絡会(一二・二)
- 三七 吉田遊撃手(立命)阪神入り(一二・六)
- 三八 立命大助教、卒業証書を偽造(一二・六)
- 三九 学生卓球の立命大の代表資格問題(一二・一〇、一一)
- 三三〇 第十四回関西学生駅伝競走 立命大、大会新記録優勝(一二・二五)

- 三三三 未川博立命大総選挙関係投票(一二・二五)
- 三三三 新設十大学を認可(一二・二七)
- 三三三 この年一九五二 多端だった教員(一二・七、八)
- 三四 この年一九五二 京都の学生運動(一二・三〇)
- 三五 教員制度改革機運高まる 戦後教員組合を再検討(一二・三三)

一九五二年(昭和二十八年)

- 三三六 平和憲法国民を守れ 佐々木惣二(一・五)
- 三三七 養老教員組合庫高拒絶問題(一・九、六・一〇、一二・九)
- 三三八 一部私立中 入試で試験が面接が小学校側と話し合いが(二・二六)
- 三三九 京都学生連大会 立命大優勝(二・二六)
- 三四〇 危険校舎の国庫補助増額(二・二七)
- 三四一 私学連盟総会 授業料問題など協議(二・二八)
- 三四一 立命館管理委員会選(二・三〇)
- 三四二 京教組と京都教組の統一問題(二・三三、三三)
- 三四四 潜行する学生運動(二・六)
- 三四五 文化 新制大の巻足 著認可(二・一〇、二八)
- 三四六 京都の各大学の受験料・入学金・授業料 立命館大学(二・一〇)
- 三四七 立命館管理選挙 全学上げ市氏提議に動く(二・三三)
- 三四八 地教委問題解決に反対運動展開(二・一九)
- 三四九 京都市立美術大学授業料値上げ問題(二・二三)
- 三五〇 京都に「尼僧会」誕生か(二・二三)
- 三五一 京都府立高校授業料値上げ方針に高校生生徒を反対派議(二・二四)
- 三五二 近畿高校マデ丁京協定違 立命館 京派代表を獲得(三・一)
- 三五二 立命館管理選挙 未川博再選(三・一)
- 三四 本年度卒業生就職状況 関学就職へ(三・八)
- 三五 養老教員学校職員会を反対のせい退職金をめぐって(三・一〇)
- 三五六 立命館大学教員組合 ストライク(三・一七)
- 三三七 京大 関学初の大騒動(三・二一)
- 三五八 広告 立命館大学・太院生募集(三・二三)
- 三三九 広告 立命館高校(定時制)生徒募集(三・二三)
- 三六〇 京大新制大学院本決り(四・一二)
- 三六一 同志社大学補入生問題(四・三〇)
- 三六二 京都府立大の放学処分 学校側勝訴(五・一)
- 三六三 自民大学設置法案(五・二)
- 三六四 立命館大学授業料未納問題(五・二、二六)

- 三六五 全国私立連臨時総会、大学院問題等討論(五・二五)
- 三六六 立命館大学大学院入学式(五・一九)
- 三六七 京大同学会再建(五・四／六・二八)
- 三六八 京都府高校通学制問題(五・二八)
- 三六九 中央教育審議会六輪会、六・三制維持(五・三〇)
- 三七〇 京都大学の新制大学院(五・三三)
- 三七二 京都府立医科大学で全学協議会(六・三三)
- 三七二 京都府立桂高生、保安隊の駐屯に反対(六・三三)
- 三七三 全学連大会、同志社大、立命大生を内難へ(六・二三)
- 三七四 法政大学教授が連下げ団交(六・二五)
- 三七五 日教組大会、国民教育会議を組織(六・二五)
- 三七六 学生会館建設を府・市に陳情(六・二五)
- 三七七 全学連中執委員に立命大阿部君(六・一六)
- 三七八 同志社大学、一部制設置認可申請(六・二〇)
- 三七九 京都大学、朝鮮休戦協定締結を計画(六・四／五)
- 三八〇 学校剣道を復活、高校生以上(六・二五)
- 三八一 大將軍小学校、通知達全廃を決定(六・二六)
- 三八二 明治大学生スト(七・二)
- 三八三 深刻化する学生ラルバイト状況(七・六)
- 三八四 中央教育審議会、六・三制度に堅持(七・二六)
- 三八五 世界青年学生平和友好参加代表者、旅費費で座り込み(七・二九)
- 三八六 教員の政治活動制限、大達文相冒険(八・七)
- 三八七 教員課程講義会、高校必修科目に地、歴(八・八)
- 三八八 京都市教委の退職勧告に一致反対(八・二二)
- 三八九 教員会、三本立を確立(八・二二)
- 三九〇 京都府高校野球選手権大会、若冠立命へ(八・二九)
- 三九一 大達文相、長期教育計画樹立を(八・二二)
- 三九二 文部省、「新しい社会科」実施の基本方針決定(八・三三)
- 三九三 転換する学生運動、「学園復興」闘争へ(八・二〇)
- 三九四 京都市内高校商業課程の通学区廃止(八・三三)
- 三九五 宇治市大久保久世中学で武装暴徒が軍事教練(九・二)
- 三九六 学生の選挙権問題(九・一タノ二・一六)
- 三九七 立命館大学理、学部校庭から移転(九・二)
- 三九八 京都府学連、全学連中央会前に対策協議(九・二)
- 三九九 全学連第二回中央委員会、「学園復興」等議(九・六)
- 四〇〇 私立大学連盟、私学総連会より脱退(九・二二)
- 四〇一 京都大学就職状況(九・二三)
- 四〇二 私学連第二回全国大会、全国的に「復興運動」推進(九・二二)
- 四〇三 日教組、「赤い羽根」の学校制に反対(一〇・二)
- 四〇四 全日本学園復興会議(一〇・六)
- 四〇五 京の予備校総説記(一〇・一〇)

- 四〇六 佐々木惣一博士、初の京都府民に(一〇・一八)
- 四〇七 私学連拡大中執委(一〇・一八)
- 四〇八 京の各大学、風水害被害学生に救援の手(一〇・一九)
- 四〇九 自派に連立撤回府学連(一〇・三三)
- 四一〇 わたつみ像の到着連(一一・七)
- 四一一 全国学生学生会(一一・七)
- 四一二 服部不全会長、辞意を表明(一一・九)
- 四一三 荒神橋事件(一一・二／三)
- 四一四 わたつみ像、街を打進(一一・二／二)
- 四一五 日本学術会議、富田選挙(一一・三)
- 四一六 京大初学長に滝川善次郎(一一・四)
- 四一七 京阪特定時刻高校野球大会、立命館高校優勝(一一・二五)
- 四一八 京都府松林野球の部に立命館高校優勝(一一・三〇)
- 四一九 京大、同学会幹部等六人の処分問題(一一・二／一〇)
- 四二〇 わたつみ像建立、立命館大学(一一・六)
- 四二二 同志社大学に生徒康休校制決定(一一・八)
- 四二三 全国高校ラグビー、京大予選決勝戦、立命館高校優勝(一一・八)
- 四二三 公立高校増設に反対(一一・一〇)
- 四二四 立命館大学学生会、除籍処分を反対決議(一一・二)
- 四二五 日本学術会議第二期富田選挙、末山氏ら再選(一一・二)
- 四二六 京大生、駒形遊走、立命大△△連勝(一一・三)
- 四二七 京都市立旭丘中学校問題(一一・一五)
- 四二八 学園入不仕、立命館大学の巻(一一・一八)
- 四二九 日本学術会議の民間移管に反対(一一・一九)
- 四三〇 文部省、教育口書を発表(一一・二五)
- 四三二 文部省、大学卒業生者の就職見込み調査結果発表(一一・二七)
- 一九四四年(昭和十九年)
- 四三一 憲法改正議論における基本見地、佐々木惣一(一一・二)
- 四三三 中教養、「教育の政治的中性」にかんする答申案、要旨(一一・一〇)
- 四三四 受験地獄再来(一一・二)
- 四三五 「寒風シビック」の裏証、立命館大学理、李助教教授竹上和夫氏(一一・一四)
- 四三六 関西学生駅伝競走、立命大連勝(一一・一八)
- 四三七 文部省、大学進学適性検査廃止を決定(一一・一九)
- 四三八 教員政治活動制限、注案(一一・一〇／一八／五・五／一〇)
- 四三九 京大生、放學処分取消の行政訴訟(一一・三)

- 四四〇 府学連「平和と青年の権利を守る京都学生大会」開催  
（二・二二／二三）
- 四四二 今年の角幡就職戦線 立命大ほか（二・三〇）
- 四四二 京都高校の進学案内 競争率、試験 費用（二・四七）
- 四四二 学園しまん 立命館大学（二・二四）
- 四四四 京都市立旭丘中学校問題（三・四七）
- 四四五 関西各大学就職状況（三・一一）
- 四四六 立命大入試 視覚障害者受検（三・一四）
- 四四七 文部省 大学の教員の任免などの教員組織調査を廃除  
（三・三三）
- 四四八 第七回選抜高校野球大会 立命館球場（三・三三）
- 四四九 わが世の春「予備校」（四・五）
- 四五〇 立命館大学入式 末川総長辞（四・二三）
- 四五二 全日本学生平和会議（五・三三）
- 四五二 文部省による「職場における学歴構成 調査（五・三）
- 四五三 日教組全国大会 国際自由労働連盟を否定（六・二二）
- 四五四 関西六大学野球春季リーグ戦 立命大優勝（六・六）
- 四五五 関西学生卓球春季リーグ（男子一部）立命大優勝（六・七）
- 四五六 国体高校ホッケー近畿 東海地区予選 立命館優勝  
（六・七）
- 四七七 京都府立高校授業料値上げ（六・九七）
- 四七八 学生アルバイト戦線（六・一一）
- 四四九 立命大で全学反ファシヨ抗議大会（六・一二）
- 四六〇 吉田首相 放逐処分執行停止へ異議（六・三二／七・二）
- 四六一 立命館大学理事 学部・学園権限問題（六・四／五・  
二五）／六・二六／七・二七／七・二）
- 四六二 原力問題研究会（六・二七）
- 四六三 京都各大学就職戦線（六・二七）
- 四六四 京都生未上選挙権 立命大初優勝（七・五）
- 四六五 岡嶋選手（立命大）中日入り内定（七・九）
- 四六六 破防法拘に末川博士出廷（七・九七）
- 四六七 京都府中学校長会 全県組別選考を声明（七・二〇）
- 四六八 学生サナトリウム完成（七・二五）
- 四六九 京都府大学の学生アルバイト状況 立命大ほか（七・二九）
- 四七〇 高 中生のヒロポン白書（七・一九）
- 四七一 荒神橋事件 学生側訴え公判（七・二〇）
- 四七二 京都府教委「政令百廿号」の撤廃へ運動（八・二二）
- 四七三 先暗い就職戦線（八・二五）／一〇・八七
- 四七四 全日本大学野球選手権大会優勝戦 立命館敗る（八・三〇）
- 四七五 中央教育審議会 天野構想を検討中（九・二三）
- 四七六 久保山さん死す 人類最初の水爆爆弾着（九・二五）
- 四七七 大連文相談 教育委員会制度の再検討問題（一〇・六／三）
- 四七八 京大 教養課程の履修年限を 年制に改正（一〇・六）
- 四七九 京大開く学会（一〇・三三）

- 四八〇 教育課程審議会「高校教育課程改善案」を答申（一〇・二五）
- 四八一 学生選挙権は修学地に 最前報新刊（一〇・二七）
- 四八一 全関西高校優勝杯大会 立命館高校決定制覇  
（一〇・二八）
- 四八二 李徳全が中国赤十字社訪民表団（一〇・二五）
- 四八四 京都府教委 府下の校舎状況調査を文部省に提出（一一・二）
- 四八五 テフにゆきく、象牙の塔 就職試験（一一・二五）
- 四八六 大学入試緩和 制度の改善 中教養部（一一・二六）
- 四八七 東映球団の後任監督 保井氏（立命OB）に決定  
（一一・二七）
- 四八八 京大生劇団「風波」の育ちゆく事 問題化（一一・二六）
- 四八九 短期大学制度の改善案（一一・二七）
- 四九〇 京都生駆け巡走 立命大初優勝（一一・二五）
- 四九二 京大飢干学科復旧問題 学生側が反対（一二・二）
- 四九二 立命館大学学生選挙権 審議値上げ反対闘争  
（一二・二二／二三）
- 四九三 京都府教委調査 狭くなる「高校の門」（一二・四）
- 四九四 世界人権宣言忌 末川立命公長ら講演（一二・五）
- 四九五 京都府学連主催「学生戦の集い」と学園入会事件  
（一二・九／一〇）
- 四九六 京都市学大生大会 立命館学優勝（一二・二二）
- 四九七 関西学生駅伝 立命大二連勝（一二・三三）
- 四九八 日経連「教育制度改善論書」作成（一二・二四）
- 四九九 文部省 学生アルバイト模擬試験廃止を勧告（一二・二七）
- 五〇一 高校で「倫理」を必修（一二・二八）
- 五〇二 安藤文相 地教制度廃止を声明（一二・二五）
- 五〇三 世界の大事は日本 一九四四年を回顧して 末川博  
（一二・三〇）
- 一九五五年（昭和三十）
- 五〇三 文部省 私立振興対策決定（一二・二二）
- 五〇四 京都松天・短大の入学手引 立命館大学（一二・二四）
- 五〇五 京都私立高校の入学手引（一） 立命館高校（一二・二七）
- 五〇六 旭丘中学校問題（一二・二二）
- 五〇七 小 中学校の社会科改訂（一二・二三）
- 五〇八 世界民主青年連盟代表団入浴（一二・二五）
- 五〇九 私学の現状と問題点をめぐ（一二・二七／二八）
- 五一〇 第二回開学連大会（一二・二八）
- 五一一 今年の大学入試は戦後最高競争率（一二・二五）
- 五二二 立命大騒動事件 関係者の異動（一二・二九）
- 五二三 京都府大学・高校・中学の就職状況（一二・二六）
- 五四 「大学入試」についての高校の要望（一二・二二）

五二五	学徒擁護会創進を申合付(二・二二)
五二六	安藤文相 中教審に私学振興策を諮問(二・二二)
五二七	文部省 小・中・高校の教師のための『指導書』作成(三・八)
五二八	広告 立命館大学学生募集(三・一四)
五二九	立命館大学 卒業生者のうち五百人分落第(三・一九)
五三〇	西日本主要四十四大学の就職状況 角嶋就職50%(四・二)
五三二	大学新設めず 文相談(四・二二)
五三三	立命館大学入学生式(四・二七)
五三三	京都府夜話(8) 学園の巻 立命館(四・二五)
五四四	予備校タイム(四・一八)
五四五	京都府立岡崎図書館利用費調へ 大学生の利用トップは立命館(四・二五)
五五六	学生会館入居滞り問題(四・二六)
五三七	立命館大学入生イベント事件など学術会議へ報告(四・二七)
五三八	京都府立大学の現状(五・三)
五三九	京大松浦事件近く結審(五・六)
五三〇	近畿私立短大連総会 教授の失格は不要(五・二六)
五三二	立命館大学 無試験推薦入学制度廃止(五・三三)
五三三	京大総覧暴行事件(六・四一〇・二)
五三三	京大同学会に解散命令(六・六)
五四四	教科書の発行に関する臨時措置法改正問題(六・二六)
五四五	立命館大学 西院へ進出を計画(六・二五)
五四六	近畿高校野球春季大会 立命館優勝(六・二七)
五四七	京都生永上選手権大会(七・四)
五四八	学生運動暴走姿勢 帰郷活動 歌や踊りで漫遊(七・七)
五四九	学者メカネで京をみる 末川 博(七・二)
五四〇	全日本学生古道選手権 立命大に初の参冠(七・二)
五四二	中教審総会 私学振興策を協議(七・二)
五四二	国語審議会 原則はひらかなを定めて(七・二)
五四三	全国高校野球京都府予選 立命館優勝(七・三)
五四四	京都府立大学の就職戦線(八・二二・二七)
五四五	全国高校野球選手権選手権 立命館代表に(八・三)
五四六	義務教育費の全額国庫負担 政府内見解対立(八・二)
五四七	京都府立中・高校生就職戦線(八・二)
五四八	全国高校野球選手権 立命館決勝で敗る(八・二七)
五四九	文部省 学生指導要領から「試験」を外す(八・三)
五五〇	近畿地区大学体育大会 立命十種目に優勝(九・九)
五五二	中教審 私学振興方策を案申(九・二)
五五二	京の「天鏡」道路 実現の運び(九・二四)
五五三	荒神橋事件 学生側が証人申請(九・一八)
五五四	「学生夜談」実施にむけ 文部省へ働きかけ(九・一八)
五五五	立命館大学理・学部 新館竣工(九・二九)
五五六	文部省 小・中・高校の指導要領(学種)を改訂(九・二)

五五七	京都府教委 教員任用に反対(九・一七)
五五八	松村文相 中教審に「教科書制度」を諮問(一〇・四)
五五九	文部省 理・教大特別給付補助を計上(一〇・二)
五六〇	松村文相 中教審に「短大のあり方」を諮問(一〇・一八)
五六一	立命館大学卒業生懸念論文呈呈決定(一〇・九)
五六二	立命館創立五十五周年記念事業(一一・五)
五六三	高校教育制度協議会 二原則を再検討(一一・九)
五六四	開学生ハスケットボール 立命館優勝(一一・三)
五六五	郭経隆院長ら中国府立西院一行の来日(一一・二六・二・二)
五六六	立命館大学 博士課程設置を申請(一二・三)
五六七	京都生駅伝競走 立命大五連覇(一二・二)
五六八	京都府立西院 大学院設置問題が争点(一二・二)
五六九	表情 若人の怒り 末川 博(一二・二)
五七〇	バイト学生へ「助け合いの箱」 俳優が学費(一二・二)
五七一	京都府立西院高校に夜間学生募集(一二・四)
五七二	わだつみ像建立 周年記念(一二・九)
五七三	国語審議会 京都に設置(一二・二)